

## 目 次

まえがき	1
第1章 パラリーガル——新しいフロンティア	3
パラリーガルとは何なのか	4
正式な定義 (4) 非公式の定義 (6)	
パラリーガルと弁護士はどのように違うのか	7
パラリーガルがやってはいけないこと (8) 戦略家と技術家 (8)	
弁護士とパラリーガルに違いがあることの価値 (9)	
その他の法律関係の職員 (11)	
職業の変化	11
1960年代と1970年代の初め——誕生及び幼年期 (12)	
1970年代半ばから1980年代半ば——思春期 (15)	
1980年代後半とその後——成人期 (15)	
パラリーガルに影響する法曹界内の発展	16
リーガルサービス業の成長 (17)	
利用しやすいリーガルサービスの需要の増加 (18)	
弁護士の供給過剰 (19) 競争の激化 (20) 宣伝とマーケティング (20)	
進む専門化 (20) コンピュータとテクノロジー (21)	
裁判外紛争解決方法 (23) セルフ・ヘルプ法 (23)	
パラリーガルのより効果的な利用 (24) 人員削減 (26)	
第2章 パラリーガルはどこで働くのか	28
法律事務所	29
法律事務所の構造及び人員 (29) クライアント (32)	
請求可能な時間 (33) 法律事務所の規模 (33)	
企業	38
政府	41

その他の組織 .....	44
第3章 パラリーガルは何をするのか	
— 4つの従来からの実務分野 .....	46
法律の概要 .....	46
訴訟専門対非訴訟実務 (48) パラリーガルの共通の仕事 (49)	
リーガル・リサーチについての説明 .....	51
法律の検索 (52) シェパディング——その法律は有効か (53)	
リーガル・リサーチの仕事 (54)	
4つの従来からの実務分野 .....	55
訴訟 .....	56
訴訟とは何か (56) 訴訟担当パラリーガルの仕事 (58)	
会社法 .....	62
会社設立 (63) 活動中の会社の仕事 (63) 会社の解散 (64)	
パートナーシップとリミテッド・ライアビリティ・カンパニー (65)	
M&A (66) 証券法 (67)	
不動産 .....	68
不動産取引の局面 (69)	
遺言検認 .....	72
資産運用 (72) 遺言検認 (73)	
第4章 「ホット」なパラリーガルの専門分野 .....	76
知的財産法 .....	77
コンピュータ化された訴訟サポート .....	79
労働及び雇用法 .....	82
従業員福利厚生制度 .....	83
環境法 .....	85
破産法 .....	87
移民法 .....	91
その他の実務分野 .....	93

目 次

第5章 どうすればパラリーガルになれるのか	
——技能、教育及びトレーニング	96
成功に必要な技能	97
文章力 (98) テクノロジーとコンピュータ技能 (99)	
技能チェックリスト (99)	
教育及びトレーニング	101
パラリーガル教育における革命 (101) 正式なトレーニング (103)	
選択 (110) 実務研修 (114)	
継続教育	116
CLA 認定 (116) PACE (パラリーガル上級能力検定試験) (117)	
上級専門試験 (118)	
第6章 コンピュータの恐怖を乗り越える	
——パラリーガルのためのコンピュータの基礎及び	
一歩進んだ知識	120
法律業界がコンピュータの有用性を発見	121
法律関係者が直面するテクノロジーの課題と傾向 (124)	
インターネットとイントラネット (126)	
コンピュータとパラリーガル	127
ワープロ (129) リサーチ (129)	
訴訟サポート, 事件管理及びデータベース (133)	
法廷テクノロジー (137) 期日管理 (139)	
ドキュメント・アセンブリ (139)	
パラリーガルのためのコンピュータ技能	140
パラリーガル, コンピュータと将来	143
第7章 どうすれば自分に合った仕事が見つけれられるのか	
.....	145
現代の仕事探し	145
雇用者は何を求めているのか	146
教育の必要条件 (147) 要求される技能 (148)	
雇用の傾向	148

ホットな分野, ホットでない分野 (149)	
トップの法律事務所のリスト (149)	
攻略方法 .....	151
雇用の情報源 .....	157
個人的なコンタクト (158)	
職業紹介所とパラリーガル・リクルーター (159)	
求人広告 (160) インターネット (161) 隠れた就職市場 (164)	
昇進 (166) 就職斡旋サービス (167) 研修 (168)	
履歴書 .....	168
面接で尋ねるべき質問 .....	170
パラリーガルの報酬 .....	171
給与交渉 (173)	
パラリーガルの給与対リーガル・セクレタリーの給与 (174)	
福利厚生 (175)	
雇用された後, 何が待ち受けているか .....	176
第8章 ここからどうすればいいのか	
——経験あるパラリーガルのための道 .....	180
肩書きの問題 .....	181
キャリア・トラック .....	182
シニア・パラリーガルへの昇進 (183) 雇用者の変更 (184)	
法律専門分野の変更 (184)	
パラリーガル・マネジメントに異動する (185)	
経営部門に異動する (186)	
パラリーガルの技能を他のキャリアに適用する (189)	
フリーランスで働くこと及び事業を始めること (199)	
更に教育を受けること (203)	
第9章 あなたのパラリーガル・キャリアに影響する問題点	
.....	207
問題——許可なく法律業を営むこと .....	208
問題を定義する (208)	

## 目 次

問題——規制	212
誰が規制されるべきか (213)	
どのようなタイプの規制がふさわしいか (213)	
パラリーガルを規制することに関する議論 (214)	
パラリーガルを規制することに反対する議論 (216)	
リーガル・テクニシャンを規制すること (216)	
問題——認定	218
認定に賛成する議論 (218) 認定に反対する議論 (219)	
問題——パラリーガルの教育	219
問題——労働基準法上免除の対象になるかならないか	222
問題——弁護士がパラリーガルを十分活用しないこと	223
様々な兆候	224
後退のステップ (224) いくつかの有望な兆候 (226)	
あとがき——パラリーガルの将来	229
将来のトレンド (229) 結語 (232)	
補章 日本のパラリーガル事情	淵邊善彦 233
付録A：パラリーガル協会	
付録B：その他の参考になる協会	
付録C：お薦めする文献	
付録D：パラリーガルのリクルーター	
付録E：パラリーガルの給与	
付録F：パラリーガル・トレーニング・プログラム	
文 献	